

野菜だより(9) 夏作ホウレンソウの前にエダマメをつくる

— 綾部研究拠点 —

ホウレンソウは中山間地域でよくつくられる野菜ですが、夏には弱くてとくにハウスで連作を続けると病害が出やすくなります。こういうときには輪作がよいということは以前からいわれています。ホウレンソウ用のハウスで春作にエダマメをつくと、初夏に収穫できますので、このあと夏作ホウレンソウが2作つくれます。夏作ホウレンソウは栽培が難しいため高い値段となり、また、エダマメも黒大豆系早生品種を早期出荷すれば値段がよいことが期待できますので、収入面で実用的な輪作組み合わせといえます。綾部研究拠点では、輪作のための適切な栽培時期や方法を検討するとともに、病害発生に関係がありそうな土壌中の糸状菌相の変動も調べることによって、より効果的な輪作方法の開発をめざしています。



黒大豆系早生品種「たんころう」(左)とエダマメ栽培実験の様子(右)



正常な夏作ホウレンソウ(左)と夏作ホウレンソウの病害(右)